

# 令和2年度

## まちづくり推進部 大森地域局の方針書

局名	まちづくり推進部 大森地域局
局長名	佐藤 育三

### 1. 局の使命(ありたい姿)

多様な地域資源を活用し、地域住民との協働により「人・心・ふれあう郷土(まち)おおもり」を目指して、「人にやさしい特色ある地域づくり」を推進します。

### 2. 局の抱える課題(現状)

- (1)地域資源である大森リゾート村テニスコート増設に向け、着実に事業を行うとともに、適切な土地の維持管理に取り組む。
- (2)「子育て支援ネットワーク委員会」は関係機関の連携がうまく機能しているので、引続き継続した取り組みが必要。
- (3)個々の職員がスキルアップのための目標を持ち、それに向かって積極的な取組が必要。

### 3. 今年度の『スローガン』

地域の声にスピード感をもって対応し、信頼される地域局になろう！

### 4. 今年度の方針

- (1)市民から信頼され、元気で活力ある地域づくり
- (2)市民の規範となるべく振る舞いを意識して行動する
- (3)安全・安心な地域づくり

### 5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	地域資源を活用した活力ある地域づくりの推進と適切な土地の維持管理
	取組内容	①地域資源である「大森リゾート村」全体を俯瞰して描く ⇒利用者及び関係団体の声を反映させながらテニスコート拡充事業を着実に進める。 ⇒本体工事の発注、施工を滞りなく進め、計画に沿った進捗管理を適切に進める。 ⇒「大森リゾート村」底地の調査に着手し適切な維持管理を行う。
(2)	実現したい成果	市民協働による地域見守りネットワークの構築
	取組内容	①「おおもり支えあい協議体」「大森地域子育てネットワーク委員会」「地区交流センター」等との連携強化。 ⇒未然防止・早期発見・早期対応を図るべく、地域全体で関係機関連携のもと、それぞれの機能と役割を発揮しながら支援に取り組む。
(3)	実現したい成果	明るく元気なあいさつの励行と市民の規範となるべく意識して行動できる職員の推進
	取組内容	①市民の皆様が親しまれ、元気で信頼される地域局を目指すため、元気な対応が市民サービスの基本であることを認識し共有する。 ⇒来庁される市民の皆様には勿論の事、まずは職員同士が「明るく元気なあいさつ」を励行し、元気な地域局体制を構築する必要がある。 ⇒多様化する諸問題、市民サービスを的確に対応するため、職員の資質向上と連携を強化する。

## 6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1) 地域資源を活用した活力ある地域づくりの推進と適切な土地の維持管理
  - ・9月末現在、テニスコート増設の進捗状況は45%で、計画通り進捗している。
  - ・「大森リゾート村」底地の調査、特に「さくら荘」底地の「白地」の部分については、再三の法務局との協議の上、解消できる目途が付き、現在、測量に着手している。
- (2) 市民協働による地域見守りネットワークの構築
  - ・「おおもり支えあい協議体」「子育て支援ネットワーク委員会」については、コロナ感染の影響により、それぞれ一回のみの開催にとどまっているが、個別案件によっては随時、関係者のみで検討会や訪問を実施している。

## 7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1) 地域資源を活用した活力ある地域づくりの推進と適切な土地の維持管理
  - ・テニスコート来春のオープンに向け、今後も施工業者・関係部署と連携を密にしながら、適切な進捗管理と安全対策を施し、事業の進捗を図る。
  - ・「大森リゾート村」底地における共有地(73名)における相続人の調査を継続する。
- (2) 市民協働による地域見守り支援ネットワークの構築
  - ・コロナ禍の状況を加味しながら、認知症への理解を深めるための「徘徊見守り訓練」の実施、降雪期前の「高齢者一人暮らし世帯訪問」を実施し、適切な支援に繋げ、市民の安全安心の確保に努めます。
- (3) 明るく元気なあいさつの励行と市民の規範となるべく意識して行動できる職員の推進
  - ・引続き、積極的な声掛けを励行し、明るく元気な地域局を全職員で築きたい。
  - ・課・係毎の朝のミーティング実施による情報、意識の共有化を促進するとともに、職員の資質向上と連携を強化する。

## 8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1) 地域資源を活用した活力ある地域づくりの推進と適切な土地の維持管理
  - ・ほぼ計画通り進捗していたが、新型コロナウイルス感染症の影響による機材の搬入の遅れにより後の工程に影響を及ぼし、更には今冬の大雪による影響が大きく工期内完成が危ぶまれる状況もあったが、工事関係者の努力により工期内完成に至る状況にある。令和3年5月30日に予定しているオープニングセレモニーをかわきりに他の大森リゾート村施設と合わせ、様々な賑わいの創出が展開されることを期待しています。
- (2) 市民協働による地域見守りネットワークの構築
  - ・降雪期前に「高齢者一人暮らし世帯訪問」124世帯を民生児童委員、保健師、職員の下、実施した。適切な支援への橋渡し、高齢者の安全確保は勿論の事、今後は障がい者世帯や8050世帯についても必要に応じ訪問し市民の要望に応えたいと感じています。
  - ・子育て支援ネットワークについては、年3回の情報交換を実施し、ケース検討会についても随時開催する等きめ細やかに寄り添った対応が出来るものと感じています。
- (3) 明るく元気なあいさつの励行と市民の規範となるべく意識して行動できる職員の推進
  - ・今後とも、明るく元気な地域局を全職員で築くため、意識して積極的な挨拶、対応が出来るようコミュニケーションを大切にします。